

第1号議案

2023年度事業報告

1 企画調整活動

(1) 第31回総会の開催

日時：2023年6月8日（木）13:00～

場所：和歌山県自治会館 会議室 203（和歌山市茶屋ノ丁2-1）

※オンライン配信を併用

議題：2022年度事業報告・決算報告、2023年度事業計画案・予算案

(2) 幹事会の開催（場所はいずれも市民の力わかやま事務所とオンライン会議併用、時間：16:30～）

①第1回幹事会（日時：2023年5月12日（金））

議題：総会議案等の審議、講演会、その他

②第2回幹事会（日時：2023年11月21日（火））

議題：講演会報告、部会活動、情報化フォーラム、その他

③第3回幹事会（日時：2024年3月18日（月））

議題：2024年度事業計画、予算案、講演会、部会報告他

(3) 情報交流会の開催

県内各市町村の意見を聴く機会として情報交流会を開催した。

日時：2023年5月23日（火）

場所：御坊市防災対策課

印南町総務課

有田市防災安全課

2 普及啓発活動

(1) WIDA 講演会 2023 の開催

「デジタルを活用した地域課題の解決について」

日時：2023年6月8日（木）14:00～15:30

場所：和歌山県自治会館 会議室 203（和歌山市茶屋ノ丁2-1）

※オンライン配信を併用

内容：

①趣旨説明（14:05～14:10）

解説：山中崇央氏（和歌山県デジタル社会推進課
プロジェクト推進班班長）

①講演1（14:10～14:40）

「地域と目指すスマートシティの取り組み」

講師：池尻洋一氏

（株式会社ウフル アカウントエグゼクティブ）

②講演2（14:40～15:10）

「デジタル化が似合わない業種こそ『DX』が刺さる」

講師：伊賀上貴雄氏（エコービジネスソフトウェア株式会社 代表取締役）

③質疑応答

参加者数：57名（会場 26名、オンライン 31名）

※終了後、収録した映像をもとに希望者及び会員向けに動画アーカイブ配信を行った。



(2) わかやま地域情報化フォーラム 2024 の開催

テーマ：「生成 AI の今と未来～企業や自治体での活用方法～」

日時：2024 年 1 月 23 日（火）13:30～16:00

場所：和歌山県民文化会館 5 階 大会議室

（和歌山市小松原通り一丁目 1 番地）

※オンライン配信を併用

主催：和歌山県情報化推進協議会

後援：和歌山県

内容：

① 基調講演

「ChatGPT 及び大規模生成 AI に関する動向と
生成 AI を利用した具体事例の紹介」

講師：高木祐介氏（株式会社自動処理 代表取締役社長）

② パネルディスカッション

パネリスト：高木祐介氏

パネリスト：八谷大岳氏

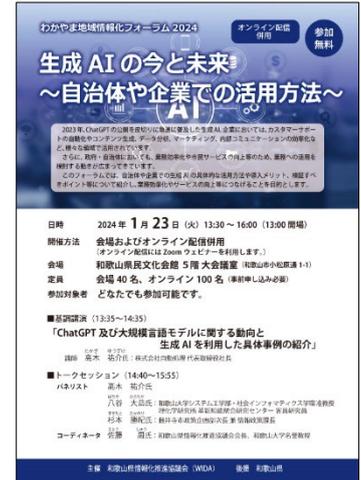
（和歌山大学システム工学部・社会インフォマティクス学環 准教授、
理化学研究所 革新知能統合研究センター 客員研究員）

パネリスト：杉本勝紀氏（藤井寺市政政策企画部次長 兼 情報政策課長）

コーディネータ：佐藤 周氏（和歌山県情報化推進協議会会長、和歌山大学名誉教授）

参加者数：84 名（会場 26 名、オンライン 58 名）

※終了後、収録した映像をもとに希望者及び会員向けに動画アーカイブ配信を行った。



(3) その他普及活動

・産学官連携（共同研究等）の実現に向けた座談会の開催

大学等における共同研究等の制度を、県内に事業所を構える IT 企業や自治体、公的機関に知ってもらうとともに、率直な意見交換を行う機会を設けた。

日時・場所：紀北会場 2023 年 7 月 7 日（金）14:00～16:00

和歌山大学松下会館 セミナールーム
（和歌山市西高松 1 丁目 7-20）

紀南会場 2023 年 7 月 14 日（金）14:00～16:00

和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー
情報実習室 1（田辺市新庄町 3353-9）

主催：和歌山県情報化推進協議会

後援：和歌山県

参加大学（順不同）：和歌山大学

近畿大学生物理工学部

和歌山信愛女子短期大学

和歌山工業高等専門学校

和歌山県立医科大学

参加者数：紀北会場 25 団体 42 名

紀南会場 12 団体 23 名

※終了後、1 月～2 月に参加者に対しフォローアップ調査を行った。



(4) 後援等

- ・「レジリエントクラウド共同講座 公開講義イベント」の後援
 - 日時：2024年1月25日(水) 13:30 開演
 - 場所：和歌山大学松下会館 2F セミナールーム
 - 主催：クオリティソフト株式会社、国立大学法人和歌山大学

3 調査研究活動

(1) ICT 利活用普及部会：ICT 利活用の最新事例紹介や意見交換等を行う。

部会長：満田 成紀（和歌山大学戦略情報室教授）

講演会「Web3.0 がもたらす新たな社会観とは

～先進事例に学び、今後の展開について語る～

Web3.0 を構成する概念・技術要素である DAO（分散型自律組織）、NFT（非代替性トークン）、DID（分散型 ID）等の活用事例を紹介し、県内での課題解決やビジネスの創出に繋がるきっかけとなる機会を提供した。

日時：2023年12月8日（金）13:30～15:00

場所：和歌山大学 松下会館（和歌山市西高松 1-7-20）

からスタジオ配信

主催：和歌山県情報化推進協議会

後援：和歌山大学、和歌山県

内容：

① 基調講演

「Web3.0 先進事例の紹介」

講師：古城 篤氏（株式会社ウフル CRO）

② 基調講演

「デジタル社会が求めるトラストへの探究：

デジタルトラスト共同研究講座の立ち上げを通して」

講師：伊原彰紀氏（和歌山大学システム工学部 准教授、
社会インフォマティクス学環 連携専任教員）

③ パネルディスカッション

パネリスト：古城 篤氏

パネリスト：伊原彰紀氏

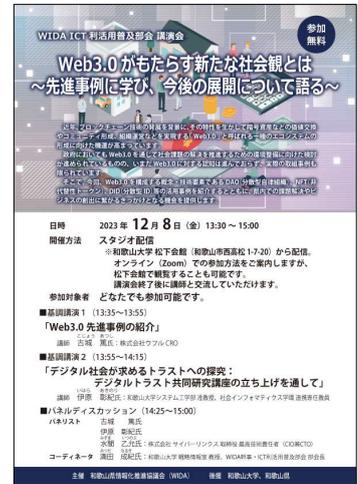
パネリスト：水間乙允氏（株式会社サイバーリンクス

取締役 最高技術責任者（CIO 兼 CTO）

コーディネータ：満田成紀氏（和歌山大学戦略情報室 教授）

参加者数：69名（会場28名、オンライン41名）

※終了後、収録した映像をもとに希望者及び会員向けに動画アーカイブ配信を行った。



(2) 教育 ICT 研究部会：教育分野の ICT 利活用の研究等を行う。

部会長：伊藤 宏（和歌山信愛女子短期大学副学長）

1) 探究学習セミナー

高等学校において「総合的な探究の時間」を進めるにあたって、生徒たちにどうやって学びの火をつけるかをワークショップ形式での体験。探究学習に役立つデータの紹介と、その具体的な活用方法について学ぶ。

日時：2024年2月10日（土）13:00～16:30

場所：和歌山信愛女子短期大学（和歌山市相坂 702-2）

1307 視聴覚教室、1309 多目的コンピュータ室

主催：和歌山県情報化推進協議会、株式会社 紀伊民報

後援：和歌山県、和歌山県教育委員会

協力：株式会社 ベネッセコーポレーション

内容：

ワークショップ「先生が楽しむ探究ワークショップ」

講師：前田 健志氏（楽しい学校コンサルタント Second 代表）

講義「探究と進路・キャリアのつながりについて」

講師：谷本祐一郎氏（(株)ベネッセコーポレーション

学校カンパニー教育情報センター長）

講義と実習「明日から活かせる楽しいデータ活用」

講師：下山紗代子氏（地域情報化アドバイザー、一般社団法人リンクデータ代表理事）

参加者数：20名

※セミナーの実施に当たり、全国地域情報化推進協会の地域情報化アドバイザー派遣制度を利用し、講師の一人として、地域情報化アドバイザーの下山氏に参加いただいた。

2) 高等学校教科「情報」の指導体制の一層の充実について

高等学校教科「情報」について、昨年度に引き続き、和歌山県における指導体制の充実に資する活動として、和歌山県教育委員会と4月に1回、8月に2回、協議を行った。

(3) 防災研究部会：災害発生時に必要となる情報共有・広報活動について、情報通信・放送など多様な情報基盤を活用するための研究等を行い、また、臨時災害放送局サポーターの募集・登録や、災害時に被災者を支える災害情報・生活情報を速やかに提供できるシステム構築を目指す活動を継続した。

部会長：佐藤 周（和歌山大学名誉教授）

1) 可聴域調査

11月30日～12月1日に紀美野町で、近畿総合通信局に協力して可聴域調査を実施した。調査結果は町に報告され、今後の臨災局設置時の情報伝達に利用される。

2) 臨時災害放送局設置運営訓練

10月29日に由良町で開催された職員防災訓練において、近畿総合通信局、NHK 和歌山放送局、由良町とともに、「臨時災害放送局設置運営訓練」を実施した。訓練の様子は後日 NHK 和歌山にて放映された。

3) 「臨時災害放送局サポーター」の募集・登録

内容：大規模災害に備え、被災地で臨時災害放送局の開設・運営にあたるボランティアの「臨時災害放送局サポーター」募集を2016年に開始、現在も募集継続中。

開始時期：2016年4月21日（木）～（継続中）

2024年3月末現在のサポーター人数：

サポーター登録者数 22人（うち県内登録者数10人）

内訳：無線従事者 16人（第一級陸上無線技術士13人、第二級陸上無線技術士3人）

情報ボランティア 6人



4) 他団体との連携

- ・和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センターと共同し、ボランティアステーション「むすぼら」と情報交流を行った他、和歌山大学でも講演を行い、情報ボランティア育成活動の重要性を周知し協力を求めた。
- ・和歌山県災害ボランティアセンターに和歌山県情報化推進協議会として加入した。
- ・和歌山市社会福祉協議会が行った和歌山市災害ボランティアセンターの設置・運営訓練に参加した。
- ・紀美野町の民間組織が運営する「きみの fm88」にヒアリングを行い、災害時の情報共有について情報交換を行った。
- ・かつらぎ町の災害時広報体制についてヒアリングを行った。

※和歌山県情報化推進協議会の防災研究部会の活動に対して、令和6年度「電波の日」近畿総合通信局長表彰を受けた。表彰理由は以下の通り。

「南海トラフ巨大地震の発生に備え長きにわたり当局と協力し和歌山県内における臨時災害放送局の同時多数開局のための放送エリアの調査や各地での運営訓練に推進的な役割を果たすことで県内の大規模災害に備えた体制づくりに多大な貢献をされました。」

4 情報提供活動

- (1) 協議会ウェブサイト (<https://wida.jp/>) の管理・運営。
協議会の活動の告知、報告ページの作成等を随時行った。
- (2) メールマガジンの配信
希望する会員あてに国・県の施策やイベント情報を月1回程度配信。その他、会員からの情報提供内容を随時配信。
- (3) SNS を利用した広報および会員の交流促進
Facebook で協議会ページを作成。広報、およびイベントの参加申し込み受付などに利用。
<https://www.facebook.com/wida.jp>
- (4) 協議会の活動を動画配信（会員限定）
 - ・わかやま地域情報化フォーラム等で撮影・編集した動画などを保存・配信



5 その他

- (1) 和歌山県警察本部（サイバー犯罪対策課）の広報活動に協力
サイバー犯罪等に関する情報提供内容を随時メールマガジンでの告知またはWIDA ウェブサイトに掲載し、広報活動に協力した。
- (2) 近畿情報通信協議会、近畿情報通信関係団体連携促進会議への協力
近畿情報通信関係団体連携促進会議に参加：2024年1月18日（木）

以上